

第3次はだの行革推進プラン実行計画

平成29年度取組状況及び自己評価・内部評価

【記号等】

実行年度	◎	改革を実行する年度
	*	公共施設再配置計画において、計画の実行年としている年度
	⇒	改革に伴う効果が継続する年度
効果額	“-”	効率化や質的向上など改革による効果が定性的であり、効果額の設定がないもの
	()	特別会計での効果額（合計には不算入）
	[]	公共施設再配置計画の関係事業に充てる予定の効果額（合計には不算入）
	実績計上	対象が未確定などのため、実績額を計上していくもの

【61の改革項目に対する自己評価・内部評価】

自己評価	計画通り	予定していた取組みの全部を実施し、効果額や指標においても目標を達成しているもの
		予定していた取組みの一部のみ実施できたもの
	概ね計画通り	予定していた取組みの全部を実施できたが効果額や指標において課題が残るもの
		その他の区分に当てはまらないもの
	遅れている	予定していた取組みが全て実施できなかったもの
内部評価	見直し又は廃止	その他主要な取組みが実施できなかったなど大きな課題があるもの
	改革終了/継続監視	改革（毎年度設定する年度ごとの取組み予定を除く）の見直し又は廃止すべきもの
		実行方針に定めた取組みを全て行うなど、改革内容を実施し終えたもの
	現状推進	効果額が目標に届かなかったが、今後も取組みを推進するべきもの
	進行強化	予定していた取組みの一部しか実施できなかったが、今後も取組みを推進すべきもの
【11の取組内容に対する内部評価】	見直し又は廃止	予定していた取組みの全部を実施できたが効果額や指標において課題が残るもの
		予定していた取組みが全て実施できなかったもの
		その他主要な取組みが実施できなかったなど大きな課題があるもの
【11の取組内容に対する内部評価】	外部評価等で取組みを強化することについて意見・指摘があるもの	
		外部評価等で取組みを強化することについて意見・指摘があるもの
	改革（毎年度設定する年度ごとの取組み予定を除く）の見直し又は廃止すべきもの	

評価	A 順調に進んでいる	「進行強化」としている項目がない。
	B 概ね順調に進んでいる	「進行強化」の項目が半数未満である。
	C 遅れている	「進行強化」の項目が半数以上である。

【行革プランの構造】

5つの改革の観点		11の取組内容	61の改革項目
1	身の丈に合わせた行政経営の推進 〔合わせる〕	(1) 公共施設再配置計画の推進	4の改革項目
		(2) 行政経営システムの見直し	7の改革項目
2	抱い手の最適化の推進 〔委ねる〕	(1) 民間委託等の推進	14の改革項目
		(2) 多様な任用形態の活用	2の改革項目
3	入るを量る施策の推進 〔量る〕	(1) 未収金対策の強化	3の改革項目
		(2) 財産の有効活用	8の改革項目
4	出ずるを制する改革の実行 〔制する〕	(3) 受益者負担の適正化	4の改革項目
		(1) 歳出の削減	7の改革項目
5	質的改革への取組み 〔高める〕	(2) 事務事業の見直し	5の改革項目
		(1) より質の高い人材の育成	2の改革項目
		(2) 市民サービスの向上	5の改革項目

【平成29年度 効果額等達成状況】

効果額

会計別	項目数	設定項目数	平成28年度		平成29年度		累計	達成率
			目標	実績	目標	実績	目標	実績
一般会計 （実績計上）	44	14	310,457	260,330	317,964	230,621	628,421	490,951
		5		188,393		38,596		226,989
特別会計及び企業会計	6	6	174,838	155,668	167,410	134,332	342,248	290,000
公共施設再配置	12	6	17,936	△ 861	16,644	16,216	34,580	15,355
合計	62	31	—	—	—	—	—	—

効果額の達成状況

会計別	項目数	設定項目数	平成28年度		平成29年度		累計	達成率
			該当項目数	達成数	達成率	該当項目数	達成数	達成率
一般	44	14	12	10	83%	14	5	36%
特別会計及び企業会計	6	6	5	2	40%	6	2	33%
公共施設再配置	12	6	2	0	0%	5	1	20%
合計	62	26	19	12	63%	25	8	32%

指標の達成状況

※複数の指標をもつ改革項目については、すべての指標を達成した場合を達成数として計上

項目数	設定項目数	平成28年度		平成29年度	
		該当項目数	達成数	該当項目数	達成数
62	35	31	14	33	12
			45%		36%

取組み実施状況

項目数	実施状況	平成28年度	平成29年度
62	○全部実施	36	58%
	△一部実施	22	35%
	×準備中	4	6%
	改革終了	0	0
			3
			5%

自己評価

項目数	自己評価	平成28年度	平成29年度
62	計画通り	28	45%
	概ね計画通り	29	47%
	遅れている	5	8%
	見直し又は廃止	0	0%
			2
			3%

内部評価

項目数	自己評価	平成28年度	平成29年度
62	改革終了/継続監視	3	5%
	現状推進	49	79%
	進行強化	10	16%
	見直し又は廃止	0	0%
			2
			3%

[illegible]

項目No.	項目名	実行年度 26.29.30.31.32	5年間見通での 当年度予定	実績区分	指標 指標内容 指標達成状況	効果額実績 平成28～29年度					評価			
						平成28～29年度								
						H28～H29 目標 効果額 (A)	H28～H29 実績 効果額 (B)	達成 状況	H29 目標 効果額 (A)	H29 実績 効果額 (B)		達成 状況		
4[制する]出ずるを制する改革の実行														
(1) 歳出の削減														
4 1 01	特別職給与の減額	◎◎◎◎◎	特別職(市長、副市長、教育長)の給与について、任期満了まで、それぞれ15%、10%、8%を減額します。	○ 全部実施	指標なし	13,048	16,713	143%	5,411	9368	173%	○計画通り	B 概ね順調に進んでいる。 進行強化となっている効果的な補助金・交付金の交付の項目については、新設の行政推進プラン総括評価報告書における行政調査委員の指摘等を踏まえ、効果的な補助金交付のあり方について検討していくこと。	
4 1 02	一般職給与の見直し	◎◎◎◎◎	地方公務員法で定められた情勢適応の原則や均衡の原則に則り、国家公務員給与改定(人事院勧告)、及び神奈川県人事委員会の勧告、並びに「職責と処遇のバランス」を考慮した中で、一般職の給与等を見直しします。	○ 全部実施	指標なし	184,272	23,075	54%	16,705	18,693	112%	○計画通り		
4 1 03	効果的な補助金・交付金の交付	◎◎◎◎◎	「補助金の検討結果報告書」及び「公共施設の利用者負担の適正化に関する方針」の趣旨を踏まえ、補助金の必要性や効果等を充分に検証した上で交付します。	○ 全部実施	①交付件数 ②交付金の削減額	-	-	-	-	-	-	計画通り		改善終了/ 継続監視
4 1 04	介護保険事業特別会計繰出金の抑制	◎◎◎◎◎	要介護認定基準及び要介護認定調査票について、民間事業者への委託化を図り、一般会計から介護保険事業特別会計に支出している繰出金の増加を抑制します。	○ 全部実施	指標なし	43,460	13,071	97%	6,136	5,706	93%	×概ね計画通り		現状推進
4 1 05	国民健康保険事業特別会計繰出金の抑制	◎◎◎◎◎	国民健康保険税の徴収率の向上により歳入の確保に努めるとともに、レセプト(診療報酬明細書)点検の強化やジェネリック医薬品の使用促進などにより医療費の適正化を図り、一般会計から国民健康保険事業特別会計に支出している繰出金の増加を抑制します(効果額については、平成30年度から財政運営の責任主体が市町村から都道府県となることを踏まえ見直し予定)。	○ 全部実施	①歳入 ②歳出	313,764	128,140	108%	60,460	56,349	93%	×概ね計画通り		現状推進
4 1 06	国民健康保険レセプト点検の強化	◎◎◎◎◎	国民健康保険財政の健全化を推進するため、レセプト(診療報酬明細書)点検の強化により、医療費の適正化を図ります。	○ 全部実施	レセプト点検効果額	(237,120)	(73,951)	84%	(45,117)	(32,654)	72%	×概ね計画通り	現状推進	
4 1 07	ジェネリック医薬品の使用促進	◎◎◎◎◎	国民健康保険財政の健全化を推進するため、ジェネリック医薬品(後発医薬品)の使用促進により、医療費の適正化を図ります。	○ 全部実施	後発医薬品割合	(72,735)	(40,631)	140%	(14,547)	(19,320)	133%	○概ね計画通り	現状推進	
(2) 事務事業の見直し														
4 2 01	(公財)薬野市スポーツ協会への支援のあり方の見直し	◎◎◎◎◎	本市のスポーツ施策の実施主体としての役割を担うことができると、組織体制の安定化に向けた取り組みを支援します。	○ 全部実施	実績	-	-	-	-	-	-	計画通り	A 順調に進んでいる。 学校施設に係る熱源の効率化の検討の改革項目については、プロパンガス用のバルクタンクの活用について検証を続けてきたが、設置運営費と効果額の費用対効果が見込めないことから、改革項目を廃止することとする。引続き、自立化に向けた支援の検討をしていくこと。	
4 2 02	薬野市文化会館事業協会への支援のあり方の見直し	◎◎◎◎◎	市民の芸術文化の向上を図るため、多様なジャンルによる公演を実施していますが、文化会館として集客による経済性等についてでも考慮しながら、充当する補助金の削減を図ります。	○ 全部実施	大ホール入場者数	-	-	-	-	-	-	計画通り	現状推進	
4 2 03	(公社)薬野市シルバー人材センターへの支援のあり方の見直し	◎◎◎◎◎	新規事業への参入により就業機会と収益の拡大を図るなど、自立化に向けた取り組みを支援します。	○ 全部実施	指標なし	-	-	-	-	-	-	計画通り	現状推進	
4 2 04	道路照明灯・公園灯等のLED化の検討	未設定	道路照明灯及び公園灯等について、LED化に伴う節電や費用対効果などを整理したうえで、総合的な観点から検討します。	○ 全部実施	指標なし	-	-	-	-	-	-	計画通り	現状推進	
4 2 05	学校施設に係る熱源の効率化の検討	未設定	熱源の効率化を図るため、プロパンガス用のバルクタンクの活用を検討します。	○ 全部実施	指標なし	-	-	-	-	-	-	計画通り	現状推進	
5[高める]質的改善への取組み														
(1) より質の高い人材の育成														
5 1 01	次世代育成アカデミーの推進	◎◎◎◎◎	職員の大量退職への対応に時代の変化を感じ取る強い経営感覚を持った次世代の管理職職員を養成することを目的として、「次世代育成アカデミー」を推進します。	○ 全部実施	①氷世代リーナー育成 ②参加者数 ③研修後の受講生の理解度	-	-	-	-	-	-	概ね計画通り	現状推進	C 遅れている。 人事評価制度の見直しの改革項目に取組みの遅れが生じている。平成28年度の行政調査委員(行政評価専門部会)からの意見を踏まえ、人材育成を第一の目的とした制度内容となるよう留意し、準備をすすめること。また、効果的な運用とすするため、併せて職員に対する説明会や外部講師による研修の充実を引き続き図っていくこと。
5 1 02	人事評価制度の見直し	◎◎◎◎◎	職員の意欲の向上と人材育成につながるよう、人事評価制度を見直しします。	△ 一部実施	職員意識調査結果	-	-	-	-	-	-	遅れている	進行強化	

A 順調に進んでいる。
学校施設に係る熱源の効率化の検討の改善項目については、プロパンガスのバルクタンクの活用について後証を納付してきたが、設置運営と効果の費用対効果が妥当でないことから、改革項目を廃止することとする。引続き、自立化に向けた支援の検討をしていくこと。

C 遅れている。
人事評価制度の見直しの改善項目に取組みの遅れが生じている。平成28年度の行政評価委員会(行政評価専門部会)からの意見を踏まえ、人材育成第一の目的とした制度内容となるよう留意し、準備をすすめることと、また、効果的な運用とするため、併せて職員に対する説明会や外部講師による研修の充実を引き続き図っていくこと。

